



# 環境かわら版

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

平成 28 年 9 月号 (第 244 号)



「平成 27 年度ダイオキシン類調査結果」等について  
お知らせします ..... P2



その他 環境情報が満載 ..... P3~8



第 3 回三河湾大感謝祭を開催しました



第 46 回愛知県野生生物保護実績発表大会を開催しました

「県庁さわやかエコスタイルキャンペーン」を実施しています (10 月 31 日まで)  
軽装・ノーネクタイでの執務について皆様のご理解をお願いいたします



エコアクションを  
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



# 「平成27年度ダイオキシン類調査結果」等 についてお知らせします

愛知県は、ダイオキシン類による汚染の状況を把握するため、ダイオキシン類対策特別措置法第27条第1項及び第2項に基づき実施した県内の環境調査の結果、並びに同法第28条第3項に基づき法対象事業者から報告された事業者による測定の結果をとりまとめました。

## 1 環境調査結果

愛知県は、国土交通省中部地方整備局、4政令市（名古屋、豊橋、岡崎及び豊田）及びその他15市町とともに、大気環境、水環境（水質、底質、地下水）及び土壌環境について調査を実施しました。

平成27年度の結果概要は、下表のとおりです。

	地点数	濃度範囲	環境基準値	単位
大気	37	0.012~0.086	0.6	pg-TEQ/m <sup>3</sup>
水質	52	0.034~2.0	1	pg-TEQ/L
底質	49	0.059~53	150	pg-TEQ/g
地下水	16	0.012~0.039	1	pg-TEQ/L
土壌	26	0.000045~2.5	1,000	pg-TEQ/g

(注1) 濃度範囲及び環境基準値（大気、水質、地下水）は年間平均値。

(注2) TEQとは、ダイオキシン類は異性体が多く、毒性は異性体ごとに異なるため、異性体の中で最も毒性の強い2,3,7,8-TCDDの量に換算した値として示したものの。

	地点数	濃度範囲	全国一斉調査結果(11年度)	単位
水生生物(魚類)	4	0.39~0.61	0.032~33	pg-TEQ/g

大気、底質、地下水及び土壌については、調査した全ての地点で環境基準を達成しました。水質については、5地点を除き環境基準を達成しました。

また、水生生物（魚類）については、環境基準が定められていませんが、国が平成11年度に行った全国一斉調査結果の範囲内でした。

## 2 事業者による測定結果（4政令市分を除く。）

事業者は、法に基づき毎年1回以上排出ガス、排出水及びばいじん等に含まれるダイオキシン類濃度の測定を行い、その結果を知事に報告することが義務付けられています。

平成27年度の測定・報告状況の概要は、下表のとおりです。

測定項目	報告済施設数	基準不適合施設数	未報告施設数
排出ガス	321	(0)	5
排出水	26	(0)	0
ばいじん及び燃え殻	183	(3)	4

(注1) 施設数は、平成27年度末の数を示す（ただし、報告後廃止した施設も含む。）。

(注2) 排出水の施設数は、事業場数を示す。

(注3) 未報告施設数は、平成27年度末の時点で稼働している施設数のうち、未報告の施設数を示す。

排出ガスについては321施設、排出水については26事業場から報告があり、全て排出基準に適合していました。

また、ばいじん及び燃え殻については183施設から報告があり、3施設のばいじんを除き処理基準に適合していました。

なお、ばいじんの処理基準を超過した事業場に対しては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、適正に処理するよう指導しました。未報告であった施設に対しても、早急に報告等するよう指導しました。

## 3 今後の対応

ダイオキシン類による汚染の状況を監視するため、法に基づき、引き続き環境調査を実施していきます。

また、今後もダイオキシン類に係る事業場に対して立入検査を継続し、排出基準、処理基準などの遵守状況を把握及び排出削減の指導をしていきます。

ダイオキシン類調査の詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/>

kankyokatsudo/27dioxin-tyosa.html)

環境活動推進課 環境リスク対策グループ  
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)



## 連載 サスティナ研ニュース ②

～基礎講座で持続可能な地域づくりについて学習～

愛知県では、未来の地域の担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、平成27年度から大学生を対象にした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」を実施しています。

今回の連載では、7月9日、16日に実施した「基礎講座」について紹介します。

研究所では、40名の大学生が研究員となり、4名1チームでパートナー企業10社に派遣され、企業の現場で環境課題の調査・研究を実施します。この研究活動を始める前に、持続可能な地域づくりについて基礎知識を習得するために、「低炭素社会」、「自然共生社会」、「循環型社会」の3つの目指すべき社会等をテーマとした講座を、2日間にわたり実施しました。実施した講座は以下のとおりです。

1	テーマ	環境企業立国をめざす若者になろう！～持続可能な未来を築くための企業の役割～
	講師	名古屋市立大学 人文社会学部 教授 別所良美(べっしょよしみ)氏
2	テーマ	環境問題の難しさ
	講師	名古屋工業大学 教授 増田理子(ますだみちこ)氏
3	テーマ	資源循環
	講師	豊橋技術科学大学 環境・生命工学系 准教授 後藤尚弘(ごとうなおひろ)氏
4	テーマ	脱炭素社会構築の挑戦～環境行政の本質と展望～
	講師	環境省地球環境局地球温暖化対策課 課長補佐 飯野暁(いいのさとる)氏
5	テーマ	How to 課題解決！何を研究し、何を実現するか
	講師	環境省中部環境パートナーシップ オフィス チーフ プロデューサー 新海洋子(しんかいようこ)氏

各講座終了後には、ファシリテーターが中心となって、学んだことをどのように今後の研究活動に生かせるかをチームごとに話し合うとともに、各講師にも積極的に質問していました。研究員からは、「持続可能な社会の実現に必要な3つの目指すべき社会について理解でき、私達が考えるべき指標がイメージできた」、「大学の各分野の専門の先生、環境省の方、NPOの方、それぞれ違った立場からの話を聞き、多様な考え方を吸収できた」などの感想が聞かれ、研究員は今回の講座により、多くの知見を得ることができました。



別所教授の講義



研究員同士でディスカッション

5つの講座に加えて、昨年度のサスティナ研究所の研究員のOB・OGによるトークショーも実施し、課題解決やプレゼンテーションで工夫した点など具体的な研究活動について話を聞き、研究員からは、「研究所のゴールに向けて何をすべきか分かり、気持ちが引き締まった」など、研究活動への不安を解消するとともに、具体的な研究活動のイメージを持つことができました。



OB・OGによるトークショー

研究員は8月から9月にかけて各パートナー企業の現場での企業環境活動研究を実施しています。次号からはその様子を紹介します。

〔 環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン) 〕

## エコ川柳を募集しています！



愛知県では、県民の皆さんに日常の中で行う地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション※」に取り組んでいただく運動を推進しています。

この一環として、エコアクションを題材とした「エコ川柳」を9月30日(金)まで募集しています。

※例：エアコンの適切な温度設定、ごみの分別、公共交通機関の利用

### 1 応募資格

県内に在住または在勤・在学している方

### 2 部門

①こども部門（中学生以下）

②おとな部門（高校生以上）

### 3 応募方法

以下の項目を記載の上、インターネット、FAX、郵送のいずれかにより応募してください。

#### 【記載項目】

川柳作品、作品に込めた思い(150字以内)、部

門、氏名、ペンネーム(任意)、年齢、住所、電話番号等

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/>

[kankyokatsudo/ecosenryu.html](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/ecosenryu.html))

### 4 賞区分・記念品

・最優秀賞（1点）	賞状と図書カード10,000円分
・優秀賞（各部門1点ずつ）	賞状と図書カード5,000円分
・審査員特別賞（各部門1点ずつ）	賞状と図書カード3,000円分
・あいちエコアクション広報部 おうえす びー OS☆U賞（各部門1点ずつ）	賞状と図書カード3,000円分
・佳作（15点）	図書カード1,000円分

優秀作品は11月19日(土)、20日(日)に金山総合駅周辺で開催する「エコアクション推進フェア」で発表します。

環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

## 「まなびやの学舎」秋の特別企画を実施します！



愛知県及びNPO法人もりの学舎<sup>まなびや</sup>自然学校では、(公財)愛知臨海環境整備センター(略称：アセック)の協力を得て、10月1日(土)から10月30日(日)まで、秋の特別企画を実施します。

自然や環境に関連したナゾを解きながらモリコロパーク内をめぐる「森のナゾときウォーク」や、もりの学舎で行う工作教室など様々な企画をご用意していますので、是非ご参加ください。

参加費はいずれも無料です。

### 「森のナゾときウォーク」

#### 1 開催日

10月1日(土)～10月30日(日)

(ただし、もりの学舎の休館日は除く。)

#### 2 開催時間

9:00～16:30

#### 3 参加方法

もりの学舎、総合案内所、西口休憩所などに設置された解答用紙(地図)を手に入れ、地図にか

かれた「ナゾときボックス」をめぐる。

#### 4 参加特典

参加者にはもりの学舎グッズや、アセックオリジナル缶バッジをもれなくプレゼントします。



ナゾときボックス



答え合わせの様子

#### 5 その他

他にも様々なプログラムを実施します。

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/>

[kankyokatsudo/autumn.html](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/autumn.html))

環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

# いらご 伊良湖休暇村公園にて「アウトドアフェスタ」 を開催します！

## 1 概要

田原市の伊良湖休暇村公園では、自然再生をテーマとした再整備エリアの一部を平成26年10月に「いらごさららパーク」として供用開始しました。

愛知県では、この園地の魅力や自然再生への取組を多くの方に知っていただくために、「アウトドアフェスタ」を休暇村伊良湖と共に開催します。

当日は、園地を利用したウォークラリーやサンドアート体験、工作教室、椰子の実ころがし大会、芋掘り等の楽しいイベントを用意しています。また、供用開始時に植栽した海浜性植物が元気に育っており、ハギクソウ、ネコノシタなどの希少な植物もご覧いただけますので、是非お越しください。

## 2 日時及び場所

- ・9月25日(日) 10:00~16:00
- ・伊良湖休暇村公園(田原市中山町大松上1)
- 豊橋鉄道三河田原駅より休暇村行きバス約40分

## 3 その他

- ・参加費無料(事前申し込み不要)、駐車場無料
- ・休暇村伊良湖レストランにて食事可能
- ・雨天中止(中止のお問い合わせは、休暇村伊良湖まで。電話0531-35-6411)



ハギクソウ

ネコノシタ



昨年度の様子

〔自然環境課 調整・施設・自然公園グループ  
電話 052-954-6227(ダイヤルイン)〕



## 連載

### 「愛知県の地球温暖化対策紹介」(4)

#### ◎みんなで広げよう「緑のカーテン」

愛知県では、次代を担う子供たちが地球温暖化防止の大切さを理解し、行動できるよう、「ストップ温暖化教室」や「緑のカーテン」等を活用した「太陽・自然の恵み学習事業」などの学習機会を提供しています。

この「緑のカーテン」の普及を図るため、平成21年度から「あいち森と緑づくり税」を活用し、「緑のカーテン」など植物の生育実習とそれを用いた環境学習講座を実施しています。今年度は、豊橋市始め県内16市町の保育園・幼稚園、小中学校など約360校において実施されています。

また、住宅や事業所等へ「緑のカーテン」の普及を図るため、平成21年度から「あいち緑のカーテンコンテスト」も実施しています。県内に設置されている「緑のカーテン」の優秀事例を表彰し、広く紹介しています。昨年度は139事例の応募の中から、

部門ごとに優秀事例を決定し、大村知事から、間伐材で製作したオリジナルの賞状を授与しました。

今年度の応募期間は9月16日(金)までです。自宅や学校、勤務先等で「緑のカーテン」を設置されている皆さんは是非ご応募ください。

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/greencurtaincontest.html>)



昨年度の優秀事例(刈谷市立富士松北幼稚園)

〔大気環境課地球温暖化対策室 温暖化対策グループ  
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)〕

## 平成28年度の「自動車エコ事業所」 を募集しています

愛知県では、エコカーの導入や公共交通機関の利用促進など、環境に配慮した自動車利用に関する取組を積極的に実践している事業所（個人事業者も含む）を「自動車エコ事業所」として認定しています。

認定された自動車エコ事業所には、毎年12月に開催している「あいち自動車環境戦略推進大会」において認定証と表示板を交付するとともに、県Webページに掲載し、環境に配慮した事業所として広く紹介します。

対象となる取組（15項目）の実施状況に応じ、配点の合計が4点以上であることを認定基準とし、愛知県知事が認定を行います。



表示板

今年度は9月30日まで自動車エコ事業所を募集しますので、是非ご応募ください。詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/h28ecojigyousyo160719.html>)

### <対象となる取組>

- ①エコカー導入
- ②公共交通機関の利用促進等
- ③エコドライブシステム導入
- ④グリーン配送制度導入
- ⑤パーク・アンド・ライド用、EV(電気自動車)・PHV(プラグインハイブリッド自動車)対応型駐車場の提供
- ⑥サイクル・アンド・ライド用、レンタサイクル用駐輪場の提供
- ⑦一般開放されたEV・PHV用充電設備の設置
- ⑧従業員向けEV・PHV用充電設備の設置
- ⑨EV・PHVタクシー、EV・PHVカーシェアリングの導入
- ⑩天然ガス自動車や燃料電池自動車等用の充填設備の設置
- ⑪再生可能エネルギーの活用
- ⑫非常用電源設備としての蓄電池（再生品を含む。）の設置
- ⑬非常用電源設備としての充給電設備の設置
- ⑭燃料電池自動車や燃料電池バス、燃料電池フォークリフトの導入
- ⑮その他自動車環境の改善に大きく貢献している取組

大気環境課地球温暖化対策室 自動車環境グループ  
電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)

## 第3回三河湾大感謝祭を開催しました

愛知県では三河湾に関心をもっていただくことを目的に、第3回三河湾大感謝祭を7月23日に豊橋市ライフポートとよはしで開催しました。

開催セレモニーでは、大村知事が佐原豊橋市長や来場者とともに、三河湾の環境再生に向けたガンバローコールを行いました。

タレントの田中律子さんと知事とのトークショーでは、知事から「海を知れば、大事にするようになる。そのためには海で遊んでもらいたい」という呼びかけがあり、田中さんから「海や山で遊び、感じて考えることが大切」との話がありました。

また、昨年6月に設立した「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」が主体となって、「次の世代に三河湾を贈ろう！」をテーマにシンポジウムを開催し、小学校・中学校・高等学校等による事例発表や、環境活動・漁業・観光関係者によるパネルディスカッションを行いました。

この他にも、三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員等による体験型ブースの出展、三河湾産のアサリを使ったアサリ汁のふるまい、海洋薬研究所の林正道さんによる「海の生きものロボットの実演」など、楽しい企画を通じて、来場された多くの皆さんに三河湾の魅力を満喫していただきました。



シンポジウム（パネルディスカッション）の様子

水地盤環境課 三河湾環境再生グループ  
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

## 第46回愛知県野生生物保護実績発表大会を開催しました

愛知県では、8月4日に刈谷市産業振興センターにおいて、第46回愛知県野生生物保護実績発表大会を開催しました。

この大会は、多様な生き物の保護や環境保全への関心を高めることを目的として、昭和46年から継続して開催しており、今年度は愛知県教育委員会、愛知県自然観察指導員連絡協議会、日本野鳥の会愛知県支部、(公社)愛知県獣医師会の後援のもと開催しました。

大会には県内の小中学校計6校が参加し、各校がこれまで積極的に取り組んできたホタルの保全や野鳥観察などの野生生物の保護活動について、制限時間10分の中でパワーポイントなどを使い、熱心に発表しました。

また、各校の発表後には、NPO法人もりの学舎自然学校のインタープリターにより、「もりの学舎 自然体感プログラム 生きもの探偵団!」と題して、マ

ツの種がひらひらと風に乗る仕組みを折り紙で再現するなど、体験型のプログラムが行われました。

その後に行われた審査委員会で各校の発表について審査され、特に優秀であるとして、ホタルの保全活動を発表した岡崎市立河合中学校と野鳥の保護活動について発表した岡崎市立生平小学校の2校が愛知県知事賞を受賞しました。

その他、全ての受賞結果と各校の発表テーマは下表のとおりです。

なお、大会で知事賞を受賞した岡崎市立河合中学校については、環境省と(公財)日本鳥類保護連盟共催により、11月下旬に東京都内で開催される「第51回全国野生生物保護実績発表大会」の参加候補者として、県から推薦します。

〔 自然環境課 野生生物・鳥獣グループ  
電話 052-954-6230 (ダイヤルイン) 〕

賞	受賞団体	発表テーマ
愛知県知事賞	岡崎市立河合中学校	河合の自然を守る一部活動、全校生徒、地域保存会の連携を通して～
	岡崎市立生平小学校	守ろう! 野鳥のすむ町 生平～野生生物保護活動を通して～
愛知県教育委員会賞	豊田市立滝脇小学校	私たちの愛鳥活動 知ろう!滝脇の自然 守ろう!私たちの森 広げよう!地域へ
	岡崎市立美合小学校	かがやけ 生田ボタル
愛知県自然観察指導員連絡協議会賞	岡崎市立東海中学校	東海の自然を未来へ～地域と協力して、絶滅危惧種を守る～
	東浦町立藤江小学校	野鳥などを通して地域の環境について考えよう

### <愛知県知事賞 受賞校の発表の様子>



岡崎市立河合中学校



岡崎市立生平小学校

# 連載 「愛知県内の環境学習施設へ遊びに行こう！」(4)



## ～ 大府市自然体験学習施設「二ツ池セレトナ」～

2 つのため池と緑豊かな公園に隣接する二ツ池セレトナの“魅力”をご紹介します！

### ◎ セレトナの魅力 <その1>

今、見頃な生きものが分かる！



見どころ紹介パネル

玄関前で、その時期に見ることができるオスメの生きものを写真と文章で紹介しています。

館内には植物・昆虫・鳥の写真をもとめて展示しており、公園で見つけた生きものの名前を調べることができます。

### ◎ セレトナの魅力 <その2>

展望室からの池の眺めが素晴らしい！



館内2階 展望室

四季によって表情を変える公園の景色を一望できます。

### ◎ セレトナの魅力 <その3>

たくさんの自然体験イベントを体験できる！

自然観察会



星空教室

土日を中心に、自然観察会や星空教室、森のようちえん体験、大人限定の森歩きなど様々な講座やイベントを企画しています。

この他にも、月替わりの工作やため池にすむ魚の水槽展示、手作りおもちゃで遊べるコーナーなど魅力はたくさんあります。是非一度、お越しください！

### 施設情報

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日（祝日の場合翌平日）、年末年始

住所 大府市横根町名高山 88-1

電話 0562-44-4531

Web ページ <http://www.seletona.com>

環境活動推進課 環境学習グループ  
あいち環境学習プラザ  
電話 052-972-9011（ダイヤルイン）

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
平成 28 年 9 月 5 日発行(第 244 号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6  
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

### 編集後記

今年の夏も暑かったように感じましたが皆さんはどのように夏を乗り切りましたか？私の家ではゴーヤを育てて、緑のカーテンを実践しました。暑さ対策だけでなく、ゴーヤもおいしく食べることができるので一石二鳥です。ゴーヤは、美肌効果や健康にいい成分をもつのでおすすめです。  
まだまだ暑い日が続きますが、暑さに負けず頑張ってください。  
（企画・編集チーム）

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。